

2013 年度ドクター研究員プロジェクト活動実績報告書

氏名	桑島 穂
(プロジェクト・テーマ名) 1950 年代ガーナのアシャンティ州における中高等教育と首長制社会	
(研究活動実績) (1) プロジェクトの概要 本プロジェクトの目的は、1950年代のガーナ・アシャンティ州における社会権力たる首長（首長制）の特質とその変容を、中高等教育との関わりから解明することにある。当該時期のアシャンティ州については、首長・王といった既存勢力に対峙する新興政治勢力「若年層」（主として初等教育経験者かつ首長制の中で職に就けない者）という政治構図が、従来の認識の枠組みとしてある。本プロジェクトを通じて明らかとなったのは、中高等教育経験者の増加と中高等教育の認知の拡大に伴って、その対立する政治構図が変化したことである。幾つかの事例から、中高等教育が、対立構図の主体であった社会集団そのものや政治闘争を流動化させたと考えられる。 (2) 活動実績 ①研究会・学会報告 ・「1940-50 年代の植民地アシャンティ（現ガーナ中部）におけるチーフと学校教育：中等学校プレンペ・カレッジの設置（1949 年）をめぐる」、日本西洋史学会、於京都大学、2013 年 5 月 ・「英領ゴールド・コーストおよびアシャンティからの目線」（澤田望氏報告「初期ナイジェリア新聞（1880-1920）における記念・顕彰行為の記録 カリスマから小さき者へ」に対するコメント報告）、イギリス帝国史研究会、於大阪大学中之島センター、2013 年 7 月 ②イギリス・バーミンガム大学に提出していた修士論文（題目： <i>Prempeh College and socio-economic development in late colonial Asante</i> ）の査読結果に基づき、加筆修正。論文の中心は 1940 年代であるが、本研究プロジェクトで得た 1950 年代に関する知見を反映させた。 ③ガーナ・アクラ国立公文書館およびガーナ大学にて資料調査を実施した（2014 年 2 月 26 日～3 月 7 日）。1940-50 年代アシャンティ州における中等教育や教育行政全般についての報告書、およびクマシ技術大学 University of Technology に関する報告書を撮影した。	